

日本のおみやげに「おかげさま」

先日ご門徒さんのお宅へお参りに行かせて頂いた時の事です。

海外からのお客さんが一緒にお参りされていました。海外在住の娘さんのボーイフレンドで、日本の家庭での仏教儀式に参加するのは初めてとのことでした。そこで、何か仏教の話をおみやげにしてもらいたくて「おかげさま」という言葉を伝えました。我々は信じられないような偶然が重なり良いことが起こった時、それを「奇跡」と呼び、時には神仏が起こし賜うたと考えます。しかし、浄土真宗では、この身が生かされていることが既に無数の奇跡が幾重にも重なりあっていると考えます。砂漠の中の一粒の砂を拾い上げる程の確率で人として生を受け、多くの人からお育てと助けを受けて生かされている。そのことに気づかされた時「おかげさま」という感謝の言葉となるのです。しかし、私たちは当たり前のように日常を送って、感謝の心を忘れて不満や愚痴を言っただけです。そんな私たちを「おかげさま」へと導いて下さるのが仏さまの教えであります。

人として生まれ、さらに仏教に出遇えたことの有り難さ。お念仏はその報恩感謝のあらわれなのです。

